

《校訓》 自主自律

《学校教育目標》 「志を持ち、学び合い、高め合う」生徒



群青

小山中学校だより
第6号 H28. 10. 13

平成 28 年度前期終業式 校長先生のお話(要約)



前期はいろいろな学習や学校行事を通して皆さんの成長が見られました。皆さん自身も前期を自己評価し後期に生かして下さい。

さて、日曜日の朝のテレビ番組「サデーモーニング」に出演している元プロ野球選手の張本勲（はりもといさお）さんを知っていますか。「喝！」「あっぱれ！」と言う人です。張本さんは「勝ったからといって肩より手を上に挙げて喜ぶな。」ということをいろいろな場で発言しています。しかし、ネット上では、王貞治（おうさだはる）さんがホームランの世界記録をうち立てた時、チームメイトだった張本さんが万歳をして王さんを迎えたことを取り上げて、「矛盾している」と批判する人もあるようです。「肩より手を上に挙げて喜ぶな。」という張本さんの言葉の裏にはどのような思いがあるのか、皆さんは分かりますね。「勝ったからこそ敗れた相手の気持を汲（く）みましょう。」ということです。言葉や出来事の表面的な意味だけでなく、その「本質」をとらえることが大切です。中学生なら、物事にはいろいろな見方がある、その中で本当に大切なこと（本質）は何なのか、ということを知ってくる年齢でしょう。

鉄道好きな人を「鉄ちゃん」と呼ぶようですが、その中にも「乗り鉄」「撮り鉄」「車輛鉄」などいろいろな分野があるそうです。ビートルズのファンにも、楽曲を演奏する人やレコード・CDを集める人など楽しみ方はいろいろです。「理科の先生」といっても、生物が専門の先生、化学が専門の先生、理科の授業法を専門にしている先生などさまざまです。これから3年生は進路選択と向き合っていきます。1年生は「職場見学」、2年生は「職場体験」が計画されています。好きなことや嫌いなこと、自分にとって優しい言葉や厳しい言葉、そこには本当のこと（本質）がきつと隠されているはずで、後期の学習を通して、自分を掘り下げていってほしいと思います。秋は「充実期」と言われます。実りある後期となるように、前期の成長を土台とし、さらなる前進を目指しましょう。

9・10月の表彰の記録（敬称略）

◎駿東地区英語弁論大会 学校代表 渡邊愛子（3年）演題「You Are Not Alone」

◎駿東地区児童生徒理科研究・工夫創作展

理科研究 特選（県特選） 糸賀里菜（1年）「身近な危険～割り箸編～」

入選 室伏一希（2年）「食品のにおいとカビの発生の関係」、佐藤優（2年）「液体電池の実験」
鈴木愛実（1年）「衣服のシミはどうすれば落ちるのか」

工夫創作 特選 小見山大輝（1年）「フレックスドライヤースタンド」 入選 岩井彩良（2年）「まっばポケット」

◎小山町工夫創作展入賞

湯山雅子（2年）「Let's make 化学反応式」 名川龍生（1年）「電撃害虫ハンター」

◎駿東地区読書感想文コンクール 入選 岩田いずみ（3年）「あきらめるということ」

古賀凜（3年）「幸福とは何か」 淡田陽子（3年）「勇気をつないで」

◎御殿場市スポーツ祭サッカー大会 準優勝 サッカー一部

◎御殿場市陸上競技選手権大会

中学生男子 3000m 第3位 細谷悠人（3年） 中学生女子 1500m 第2位 妹尾晴華（1年）

◎中体連駅伝競走東部大会

男子の部 第7位（細谷悠人・岩田直也・豊田廉・米山恭輔・岩本侑己・松本龍馬） ※県大会出場

女子の部 第15位（池谷撈紀・鈴木志保・山崎琉名・妹尾晴華・山田佳璃）

群青祭（文化祭）を生徒が主体となり開催しました

10月1日（土）本校体育館で群青祭を開催しました。生徒による準備・運営が進められた、手作りの温かさが感じられる群青祭となりました。生徒は日頃の「学び」の成果を堂々と発表しました。特に合唱コンクールの歌声は各学年の良さがよく表現され、小山中生の三年間の成長を実感できる素晴らしいものでした。（※前回の学校だよりで、学校行事における情報モラルのお願いをしましたが、当日は御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。）



生徒の手による準備



広島平和学習発表



合唱コンクール

また、当日は本校の卒業生である、NHKアナウンサーの佐々木彩さんが、母校を訪れ、「〇〇（後悔）先に立たず～夢への近道～」というテーマでお話をいただきました。以下に掲載する生徒の感想から、佐々木さんのお話の素晴らしさが分かります。

- ◎お忙しい中、そして遠くからわざわざ来て下さった事がうれしかったです。講演会は堅苦しいものと思っていたのですが、面白い内容、親しげな話し方、全てに魅力を感じました。人と話すコミュニケーション能力は、やはり必要なのだと思いました。
- ◎佐々木さんの「後悔先に立たず」の考え方を心がければ、迷うことがなくなるのではないかと思います。質問にも丁寧に答えて下さって、心が温かい方だと思いました。
- ◎二年生として全校合唱の伴奏をしたことが自分の自信につながりました。不安で不安で手が震えていましたが、間違えずに弾けたのは、直前に聞いた佐々木さんの「失敗した自分とはさよなら。はい、次の私こんにちは。」という言葉が頭の中にあっただからです。
- ◎私は佐々木さんの話を聞いて納得しました。私は、やろうと思ったことがあっても勇気がなくて手を挙げたりしていなかったから後悔ばかりしていました。この講演会を聞いて、自分がやりたいと思ったことには積極的に挑戦していこうと思います。
- ◎ずっと質問しようか悩んでいたのですが、後悔しないために手を挙げました。すぐに指してもらってびっくりしたけれどいい経験になりました。アナウンサーは遠い世界の人、そんな考えも吹っ飛びました。ありがとうございました。

子育てコラム③「モデリング」

佐々木彩さんの話を聞いた生徒は、「では自分は…」と、自分自身を見つめています。子どもは、信頼できる大人の姿を通して、自分の進路・生き方を考え始めるのです。

私たちの多くはスーパーヒーローではありませんが、一人の大人として、まあまあ（※この「まあまあ」が大切）まっとうに生きている姿を子どもたちに見せることはできます。思春期まっただ中の中学生は、実は自分の将来に不安がいっぱいです。「受験に失敗したらどうしよう？」「お金を稼ぐことって大変なの？」「わたしが生まれた時うれしかった？」。部屋を片付けなさい、の他にも大人が話しておくべきことはたくさんあるはずですよ。

（まあまあ）まっとうに生きている身近な大人の姿から、中学生はたくさんのお話を学んでいきます。きっと私たちもそうだったのではありませんか。

教育相談日程

スクールカウンセラー（砂山）

10/18(火)・25(火)・

11/1(火)・15(火)

スクールソーシャルワーカー（窪田）

10/28(金)・11/14(月)・

11/25(金)

学校医相談（岩田先生）

11/14(月)・12/13(火)

※問い合わせ、申込みは小山中学校、担任まで